

県政みたま
扶川
あつし
無所属



発行
徳島県議会議員
扶川敦
板野町犬伏字
大坪 78-1
088-672-5875
2021年5月号

扶川敦無料生活相談所

何でもどうぞお気軽にご相談ください
扶川携帯090(一五七〇)二〇四五

TSKサービス

中古家電・家具等販売 引っ越し・片付け等・何でも格安親切な便利屋！

2020年11月と2021年2月県議会の報告です。これまで同様、自分の所属委員会に加え、参加可能な他の委員会にも全て出席し、知事の政治姿勢を質しました。2月は、年一回割当の本会議一般質問もあり、イルス対策で、県への申し入れを2度行いました。

検査拡大による高齢者の感染防止を要求

飲食店時短に伴う関連業種への支援を要求実現

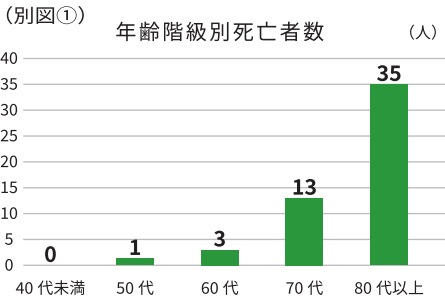
**検査とワクチンで
高齢者の命を守れ、
死者の92%が70歳以上**

5月12日現在の新型コロナウイルスによる県内死者数は52人で、70代と80代以上が合計48人と全体の92%を占めています。(別図①)わたしは犠牲者を減らすには、高齢者への感染予防こそ最重要課題だと、昨年来一貫して主張してきました。

2月議会前には、入院可能な県内全医療機関と板野郡の全高齢者施設にアンケートを取りました。その結果(別図②)もふまえ、「新しい県政を創る会」と「護民官(私の一人会派)」が

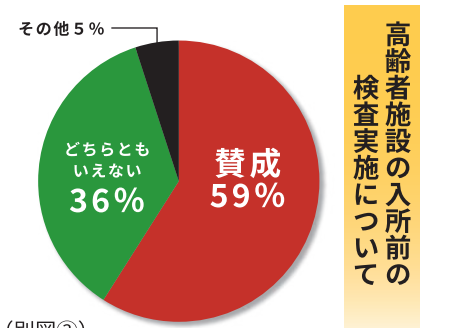


(写真①)

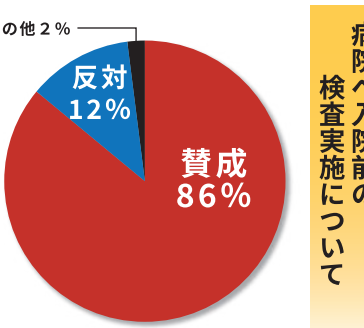


共同で2月4日県に申し入れ、抗原検査も活用して、公費負担で、高齢者施設と病院の新規入所・入院時の検査と職員の定期検査を実施するよう求めました。私と長池県議は、本会議一般質問(写真①)でもこれを要求しましたが、県は費用がかかること等を理由にあげ、実施に消極的でした。

ところがその後、県立中央病院でクラスターが発生。これを機に、全県立病院で入院時全患者検査をせざるを得なくなり、他の公立病院や一部の民間病院にも取組みが広がりました。一方、5月12日現在も、高齢者施設については、国により徳島県が「まん延防止等重点措置」の対象となれば、職員の定期検査等を検討すると言っただけです。



(別図②)



病院へ入院前の検査実施について

強化を県に申し入れました。いまとなつては、一刻も早い高齢者や施設従事者へのワクチン接種が、最重要課題です。

また、厚労省事務連絡では、介護施設で発熱者が出たら、すぐ検査をすることになっているのに、医師の判断で検査しない場合があります。私は、それが大きなクラスター発生に繋がった疑いがあると指摘し、県下医療機関と介護施設に事務連絡の徹底を求めました。

プール方式検査や ポランティアへの 検査・提案が実現

新型コロナウイルス感染症検査については、過去に感染していたかを調べる抗体検査と、現に感染しているかを調べるPCR検査及び抗原検査があります。抗原検査は、2〜4時間かかるPCRより短時間で結果

が出ますが、これにも定量と定性の二種類があります。前者はより正確ですが検査には800万円程度の機器と1〜2時間が必要、後者は簡易キットで40分ほどで結果が出ますが精度が低いとされます。入院・入所時の検査は、機器の整備状況等に依りてこれらを使い分ければよいと思います。また、私は申し入れや本

会議一般質問の中で5検体をまとめて検査するプール方式のPCR検査を提案しました。これもその後、藍住町内病院でのクラスター発生を機に導入されました。プール方式では時間の短縮と合わせ、費用は3分の2に削減されています。また、県から県外に行く災害ポランティアに、行き帰りのPCR検査を全額県費で実施する全国初の制度が実現しました。11月議会委員会で私が提案したもので、75人の予算枠です。是非活用をいただければと思います。

感染予防にも有意義 可能な限り情報開示を

病院、介護施設、カラオケハウスや飲食店、家庭等、高齢者が感染した場所の分析は、犠牲者を減らす対策に必須です。県民もこれを知ることが高齢者を守る行動につながります。ところが県は、私が委員会何度数字を求めても、「ご遺族の意向、心情を踏まえ公表できない」というのです。

具体的な施設名や地域名は公表しないのですから、理由になっていません。情報提供に消極的な姿勢は他にも。私は昨年9月委員会で、県内感染者のうち何人がCOCOA(接触確認アプリ)を利用していたか、その後啓発

で使うなら公表してよいと了解を得た」のだそう、県は今後、「陽性者の登録のお願いはきちんとしたい」と改善を約束しました。COCOAに関しては、昨年9月28日のバージョンアップ以来の不具合を4カ月も放置した国のさまざまな対応が批判を浴びました。情報公開法第一条は、「国民主権の理念にのっとり、行政文書の開示」を促しています。行政情報の記録と開示は、民主主義社会の基本です。国にしろ県にしろ、情報を官庁の所有物と勘違いしているのではないかと疑います。

事業所のコロナ対策 10割補助延長を提案 実現

飲食店時短で関連業種への支援を提案 実現



(写真②)

徳島県は、4月16日（5月31日）の間、飲食店の営業時間を午前5時から午後9時までとし、酒類提供は午後8時迄とする要請を行いました。時短した飲食店は、協力を求めますが、代行業やタクシー、酒店をはじめとする関連業種も広く損失を被ります。

そこで、3党派共同で4月20日、県に支援業種の拡大を申し入れました。(写真②)その後業界団体の申し入れも行われ、県は「徳島県飲食関連事業者一時支援金」を創設しました。

同制度は、令和3年4月又は5月の売上が、前年又は前々年同期比で50%以上減少していること及び、県「ガイドライン実践店ステッカー」又は「事業者版スマートライフ宣言」の掲示が適用条件で、対象期間は4月及び5月です。1事業者あたりの支給額は、法人40万円(上限)個人事業者20万円(上限)となっています。

制度の問い合わせ先は、飲食店の協力が、0800-2222-6728(フリーコール:通話料無料)関連事業所一時支援金が、088-621-2069(県商工労働観光部)です。

飲食店時短に伴い代行や酒店等、関連業種の支援で申し入れ

新型コロナウイルス感染症対策は、予防や治療とあわせ、経済ダメージへの支援が大きなテーマです。私は議会質疑や申し入れの中で、12月末で一度終了した、空気清浄器や換気扇、パ

ティション等への補助金「WITH・コロナ『新生活様式』導入応援助成金制度」の延長を要求し、令和3年2月、3月を申請期間とする再開が決まりました。

板野町を中心に、郡内の店舗などを回って制度利用をお勧めする活動にも、三原大輔板野町議らと共に取り組みました。

空気清浄器や換気扇、パーティション等への補助金

ティション等への補助金「WITH・コロナ『新生活様式』導入応援助成金制度」の延長を要求し、令和3年2月、3月を申請期間とする再開が決まりました。

教育分野でもコロナ対策を議論 JR車両増結、差別許さぬ人権教育、不登校にオンライン活用等

教育に係る新型コロナウイルス感染症では、感染予防の臨時通学バスが終わる3月以降、JRに列車増結を要望するよう求めました。県の要望を受けてJRは、徳島線6時8分発、池田発19時5分発の臨時増結を、3月から通常化しました。

また、新型コロナウイルス感染者への差別横行を、逆に人権教育の機会ととらえ、「いじめや差別がなぜおこるのか」という深い学習教材として仕上げしてほしい」と要望しました。

この他、児童生徒に一人一台端末を整備するGIGA Aスクールの取り組みを、リモートの入学式や不登校児童生徒への支援に生かすよう提案しました。電子黒板や実物投影機の整備促進も求めました。

県教育委員会の答弁は、いずれも前向きでした。

「知事の姿勢は公正・公平さを欠く」県立ホールや会食問題を本会議で追及

本会議一般質問で私は、「とくしま記念オーケストラ事業で知事は、知人の川岸美奈子氏を重用し、ハイヤーをあてがう等厚遇した。新ホール問題における知事の対応は、遠藤・前市長と内藤・現市長で、天と地の差があった。どちらも知事の姿勢は、公平さを欠いた」と批判しました。

さらに、週刊誌が知事の「誕生会」と書いた会合で県職員らと会食した問題(昨年8月)と県議会と党2会派議員が開いた懇親会に県幹部職員を伴い会食した問題(昨年12月)を取り上げました。「感染対策の緊張感を失わせる」「県民に注意喚起していたのに一貫性がない」という県民の声を紹介し、「知事にはルール遵守や公平・公正性につき、一点の曇りもない姿勢が求められる」と意見しました。

5千億円を超える県予算の調製権を持つ知事の姿勢が歪めば、税金が無駄に使われかねません。一般質問では、県立ホール建設に伴う新駅設置について、本当に必要なのか検討を求めました。



ジェンダー解消で立ち遅れる県庁

東京オリ・パラ組織委員会森喜朗氏の発言を機に、ジェンダー(社会的性差)解消が注目されています。

ところが、県庁知事部局の女性の管理職登用割合は、部長級は72人中7人、課長級25人中42人、平均約13%です。これはアメリカにおける管理的職業従事者割合が40.7%、イギリス36.8%、フランス34.6%と比べても格段に遅れています。ちなみに、日本全体でも14.8%と立ち遅れています。

本会議質問で私は、現行の県行動計画では2022年度に女性管理職登用16%を目標にしているが、まずは3割程度を目指すべきだと意見しました。

扶川敦無料生活相談所を開設しています。

住居に困っている方のアパートの確保、弁護士、司法書士さんのご紹介、役所との話し合いや、生活保護申請をはじめとする各種手続き同行など、専門家の力もお借りしながら、一緒に問題解決をすすめます。お困りのことがあれば、何でもお気軽にご相談ください。



扶川ホームページ URL
<http://atsushi-fukawa.sakura.ne.jp/>

扶川フェイスブック URL
<https://www.facebook.com/gominkan/>

